

千葉県水道局では、水道水を約294万人のお客様に毎日お届けしております。いつでも蛇口から水道水が出るようにするためには、その過程で電力など多くのエネルギーを消費し、温室効果ガスや廃棄物を排出するなど環境に負荷を与えています。

特に電力不足問題や地球温暖化問題が重要課題となった今、省エネルギー対策の強化が求められています。当局では送配水方法の工夫や省エネルギー型機器の導入、太陽光発電パネルの設置、給水場に流入する水圧を利用したマイクロ水力発電の導入など様々な取り組みを進めてきました。また、電力だけでなく漏水検査や修繕、水道管理設工事で発生する建設残土の有効利用など、無駄を減らし環境負荷をできるだけ少なくするための努力を計画的に行っています。

本報告書は、平成17年度より千葉県水道局が毎年発刊しているものです。作成にあたっては、水道事業の環境とのかかわりや環境保全の取り組みを写真や図で紹介するとともに、環境負荷と削減量、環境保全のためのコストと効果を数値化し、第三者審査機関による審査・保証のもとにわかりやすくご紹介できるよう心がけました。

千葉県水道局は、環境に配慮した水道事業を推進し、これからも安全で良質なおいしい水をお客様にお届けしてまいります。

平成25年2月 千葉県水道局長 **名輪 淑行**